

TOSHIBA



～ 調和から貢献へ 一歩進んだエコファクトリー ～

東芝インフラシステムズ株式会社 府中事業所

環境報告書 2022

報告期間 2021.4.1～2023.3.31

ご挨拶

東芝インフラシステムズ株式会社 府中事業所では社会インフラを支える製品を数多く提供することと、事業プロセスに於ける環境負荷の低減を両立させていくことが、取り組むべき重要な責務です。持続可能な社会の実現に貢献するため、製品の環境性能向上に注力し、地球温暖化防止や資源の有効活用を意識して、循環型社会の構築を進めています。

「調和から貢献へ一歩進んだエコファクトリー」をスローガンに、府中地区全体の緑のネットワーク構想に大きく貢献していきます。

2022年 6月

東芝インフラシステムズ株式会社

府中事業所

環境保全責任者

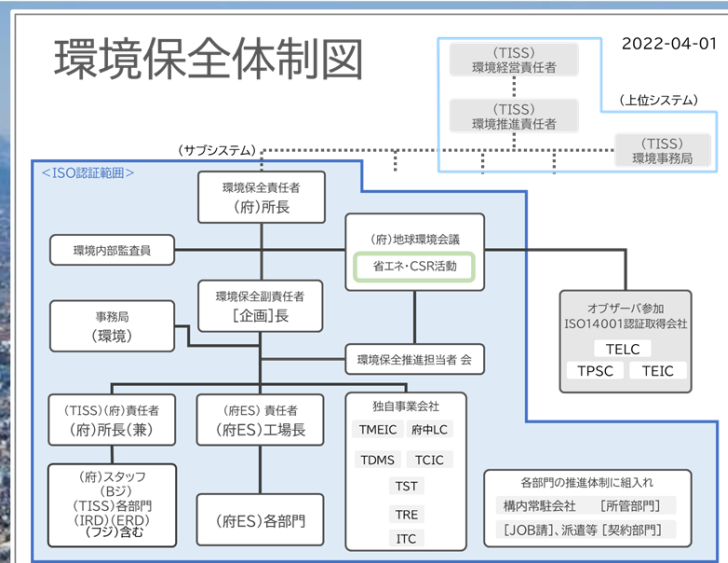
所長

辻 浩介

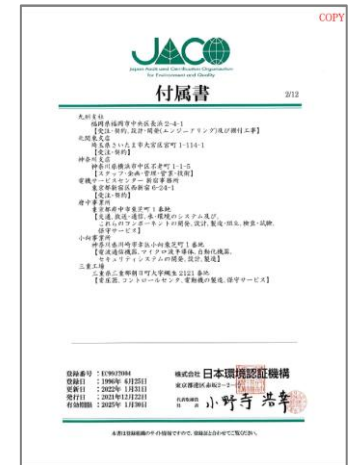


府中事業所の概要

設立 : 1940年 電気機関車工場として操業開始
 所在地 : 東京都府中市東芝町1番地
 敷地面積 : 655,000㎡
 建物延面積 : 394,000㎡
 従業員数 : 約9,200人(2022年4月現在)
 (関係・協力会社、独自事業会社含む)



ISO14001



東京都優良特定地球温暖化対策事業所



府中事業所の環境方針

府中事業所 環境保全基本方針

府中事業所は、社会インフラを支えるエネルギー、交通、放送・通信・防災、水・環境、受変電・産業システムの分野で、安心・安全・快適な社会を支える環境調和型の製品・サービス・ソリューションを提供し、新たな価値を創造していきます。東芝グループ理念体系における「人と、地球の、明日のために。」の信念のもと、気候変動への対応、循環経済への対応、生態系への配慮により、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献し、新しい未来を始動させます。

- 環境保全への取組みを事業所経営の最重要課題の一つとして位置付け、事業活動を通じ環境マネジメントシステムの継続的な改善・向上に全員で取り組むと共に、環境教育・啓発活動の継続的な実施により、環境意識の向上に努めます。環境側面について生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減に向けた環境目標を設定して、環境保護を推進します。
- 事業活動において、次の環境配慮活動に取組み、持続可能な資源の利用に努めます。
 - 生産設備、動力供給設備等に使用する電気・ガス等の効率的利用によるCO₂排出量の抑制をします。
 - 資源の有効性を認識し、資源の有効活用と廃棄物の発生を抑制します。
 - 化学物質による汚染の予防、環境リスクの低減に取り組みます。
 - 環境負荷の少ない物品や材料を購入するグリーン調達を推進します。
- 環境保全に関する法令・協定等、当事業所が同意したその他の要求事項に立ち、より厳しい自主基準を設けて管理します。
- 信頼されるパートナーとして地域・社会、取引先との協調・連携により環境活動を通じて社会に貢献します。
 - 取引先に対して指導・支援を行います。
 - 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。
 - 地域社会の環境活動に参画・協力します。



2021年6月1日
府中事業所 所長

「環境スローガン」

調和から貢献へ

一歩進んだエコファクトリー

辻 浩介

社会インフラを支える主な製品



エネルギー 電気を安定して供給するために
発電所の稼動と発電所からユーザーへの電気の供給を最先端の技術で監視・制御するシステムを提供



交通 スムーズな移動と輸送のために
電気機関車、鉄道車両向けの各種電気・情報システム、空港向け監視制御システムなどを製造省エネ鉄道システムや、未来の交通システムを開発



水・環境 大切な水・環境を守るために
上下水道、廃棄物処理などの生活基盤からダム管理まで高度な技術で水・環境分野の課題へのソリューションを提供



放送・通信・防災 より早く効率的な情報提供のために
マルチプラットフォーム化対応の放送システムを製造 防災システムや伝送装置で通信インフラの確保に貢献



受変電システム・産業用システム 社会インフラの安定稼動を支えるために
産業用電気設備や電力供給設備、産業用コンピュータなどの開発・製造から保守・点検までを実施

環境コミュニケーション

東京都



東京都は、温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度（キャップ&トレード制度）において、地球温暖化対策が特に優れた事業所を、トップレベル事業所、準トップレベル事業所に認定しています。このたび、令和4年度、トップレベル事業所として6事業所、準トップレベル事業所として2事業所、合計8事業所を認定しました。

事業所種類	認定区分	事業所名(50音順)
第一区分	トップレベル	アートヴィレッジ大崎セントラルタワー
		アット東京第3センター
		株式会社野村総合研究所
		東京ミッドタウン日比谷
	準トップレベル	新宿パークタワー
		新宿三井ビルディング
事業所種類	認定区分	事業所名(50音順)
区分二	トップレベル	東京都水道局羽村導水ポンプ所 東芝インフラシステムズ株式会社 府中事業所

※第一区分事業所：オフィスビル等、地域冷暖房施設
※第二区分事業所：工場等

自治体・地域のコミュニケーション・イベント



「府中環境まつり」
2022年度はon-line開催



府中市郷土の森観光物産館
「夏のフェスタ2022」

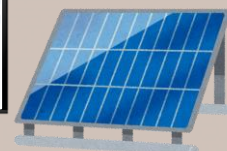
府中事業所

府中市



省エネ・生物多様性への取り組み

・電力の見える化(デマンドEYE)と太陽光発電の管理



・次世代燃料「水素の利活用」



・ZEB化を推進
(Net Zero Energy Building)

・ヤギによる「eco除草」



・自然観察会(ビオトープ)

環境コミュニケーション

【東京都環境局】省エネ及び再エネ推進セミナー トップレベル事業所として辻GMが登壇

「省エネ対策・再エネ利用に関する事業者の取組事例紹介」をされました。



東京都環境局HP

◀ 詳細はリンクにアクセスください



小池都知事から認定証授与



2022夏のHTT 東芝インフラシステムズ(株)は 優良取り組み企業に選出されました

東京都で、エネルギーの安定確保につなげる観点から電力を<①減らす・①創る・①蓄める>「HTT」を推進しています。夏季7/1~9/30の推進期間で優良な取り組みをした企業57社(5,816事業所)の中から、(府)を含む10社が選ばれました。

HTT優良事例の紹介動画 第1弾は(府)

夏のHTT優良取組事例を気象予報士「千種ゆり子さん」をナビゲーターに取り組み紹介動画を収録しました。[企画] 水谷SMが出演され、電力量をリアルタイムで確認できる(府)システム「デマンドEYE」で電力量の可視化と削減の取り組みを説明されました。

本動画は[東京都産業労働局HP](#)でも公開されています。

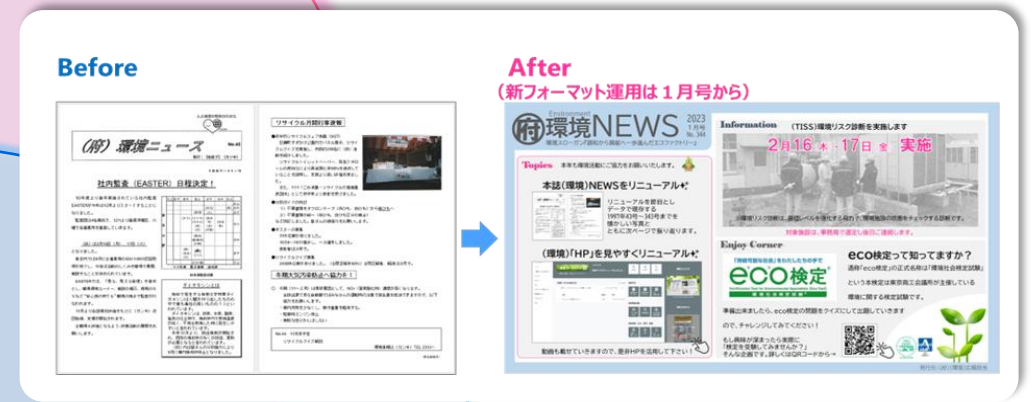


電力を
H減らす
T創る
T蓄める

環境コミュニケーション



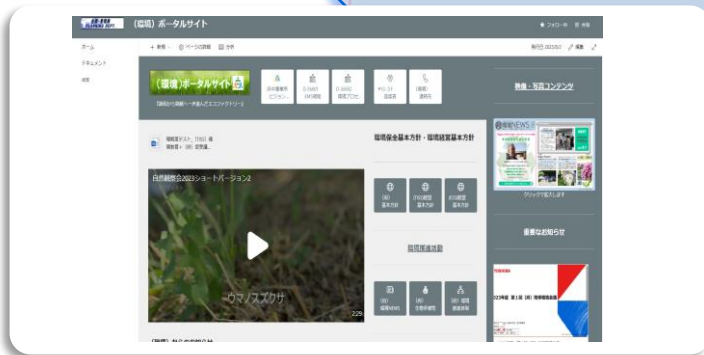
(府)HPの(環境)へのリンク先を整備し魅せる



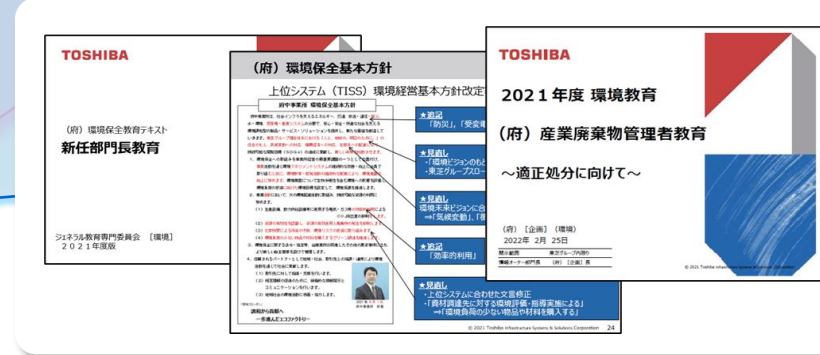
(環境)NEWSを紙ベースからモニターベースで魅せる

「見る」から「魅せる」をテーマに情報発信力を強化

(環境)HP「掲示板」を「ポータルサイト」にリニューアルし、動画も活用し情報を魅せる



教育資料などもトップページに配置し魅せる

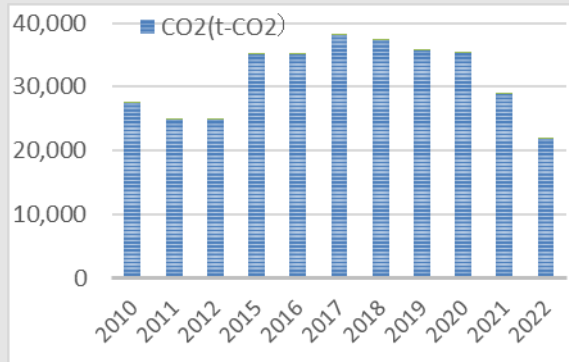


環境負荷データ

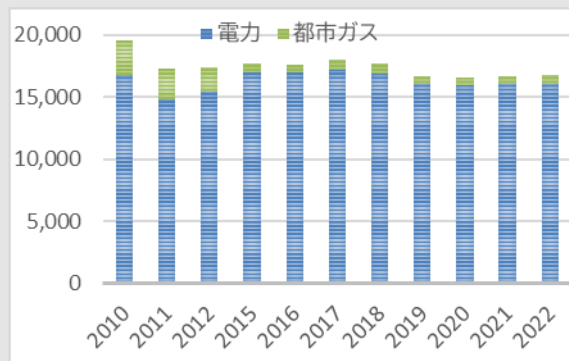


CO2・エネルギー

排出量

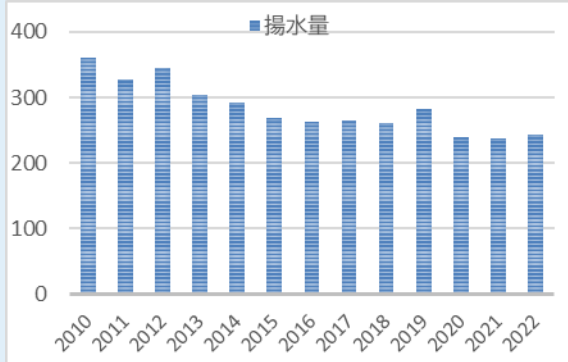


使用量



水

使用量

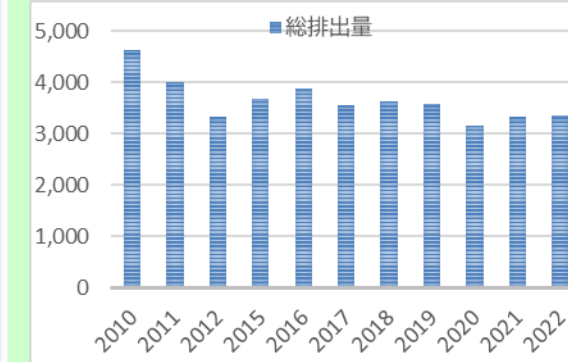


排出量

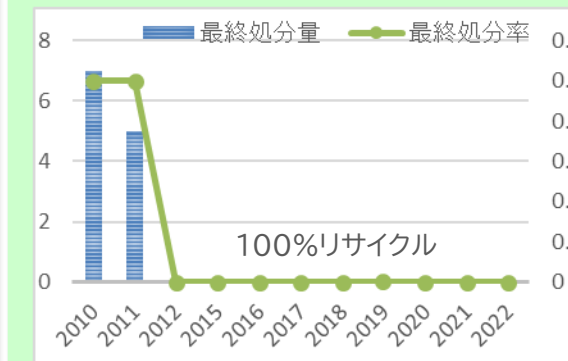


廃棄物

排出量

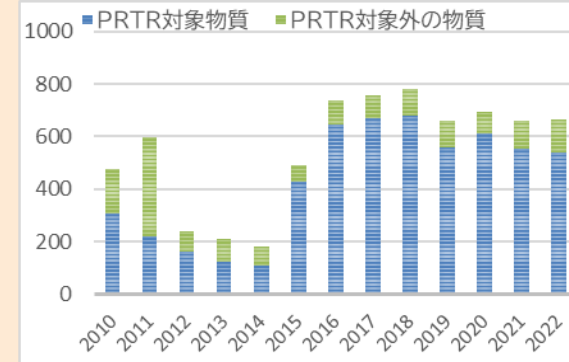


処分量

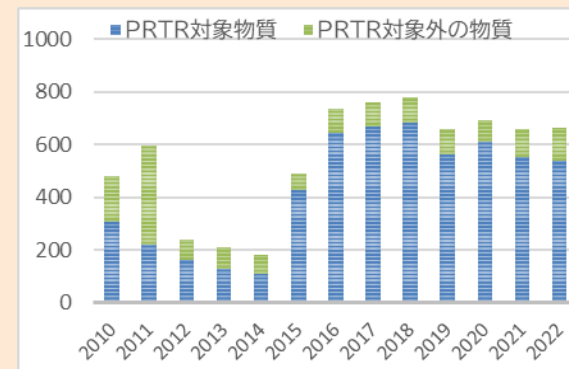


化学物質

使用量



排出量



環境法令の順守



1. 大気測定結果〔貫流ボイラー(都市ガス)38A号館2缶、49号館3缶〕

	府中市規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	52	24~26	年1回
SOx(Nm ³ /h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん (mg/Nm ³)	0.1	0.025	<0.001未満	年1回

2. 排水測定結果 (総合排水監視施設) 公共下水道へ放流(北多摩一号水再生センター)

	府中市規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.7~8.7	6.0~8.5	7.7	週1回
SS(mg/ℓ)	300	250	75	週1回
窒素(mg/ℓ)	120	90	27	週1回
鉛(mg/ℓ)	0.1	0.05	<0.01未満	週1回

3. 騒音・振動測定結果(騒音特定施設:機械プレス他、振動特定施設:機械プレス他)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:朝	60	57	43~46	年1回
	敷地境界:昼	70	67	44~51	
	敷地境界:夕	60	57	43~44	
	敷地境界:夜	55	52	41~45	



4. その他測定結果(基板製造工程排水)

	府中市規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.7~8.7	6.0~8.5	5.7~7.2	年2回
SS(mg/ℓ)	300	250	5.2~48	年2回
ホウ素(mg/ℓ)	10	5	0.03~0.57	年2回

5. 環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

環境法令の順守

府中事業所では、定期的に環境保全活動や順法管理・現場管理などが適切であるかを、社内及び第三者による監査にて確認しています。

また監査結果は、(府)地球環境会議や(府)環境NEWS、(環境)HPなどに掲載し、従業員の環境意識向上に努めています。

2022年度は、以下に実施しました。

(府)環境部門監査 (6月)

(TISS)環境内部監査 (9月)

ISO14001サーベイランス審査 (11月)





調和から貢献へ 一歩進んだエコファクトリー